



膨張したおちんぽに囲まれて

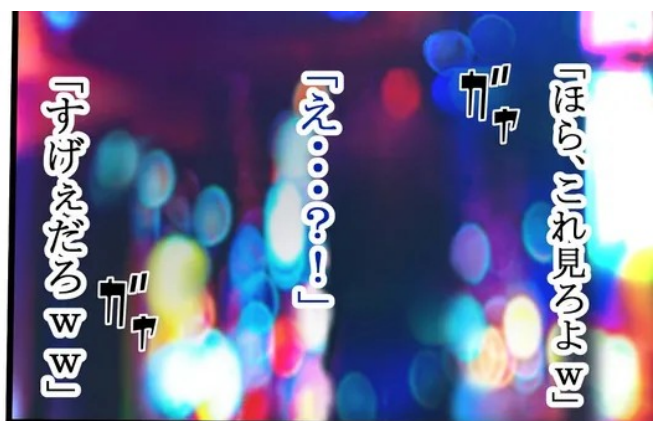
あ、待って
お口はひとつしかないの♡

妻の浮気は

みつ
愛液の味³

美代さんの場合

カラー27ページ



ああ、結婚してもう3年か…

そういえば仕事仕事であまりかまってやれてなかったな

ここ1年位はセックスも…

美代は…

小柄だけといい体してるんだ

胸はでかくて、ピンク色の乳首が
ツンと上を向いて…
歩くたびに揺れるんだよなあ…

腰はキュツと締まって

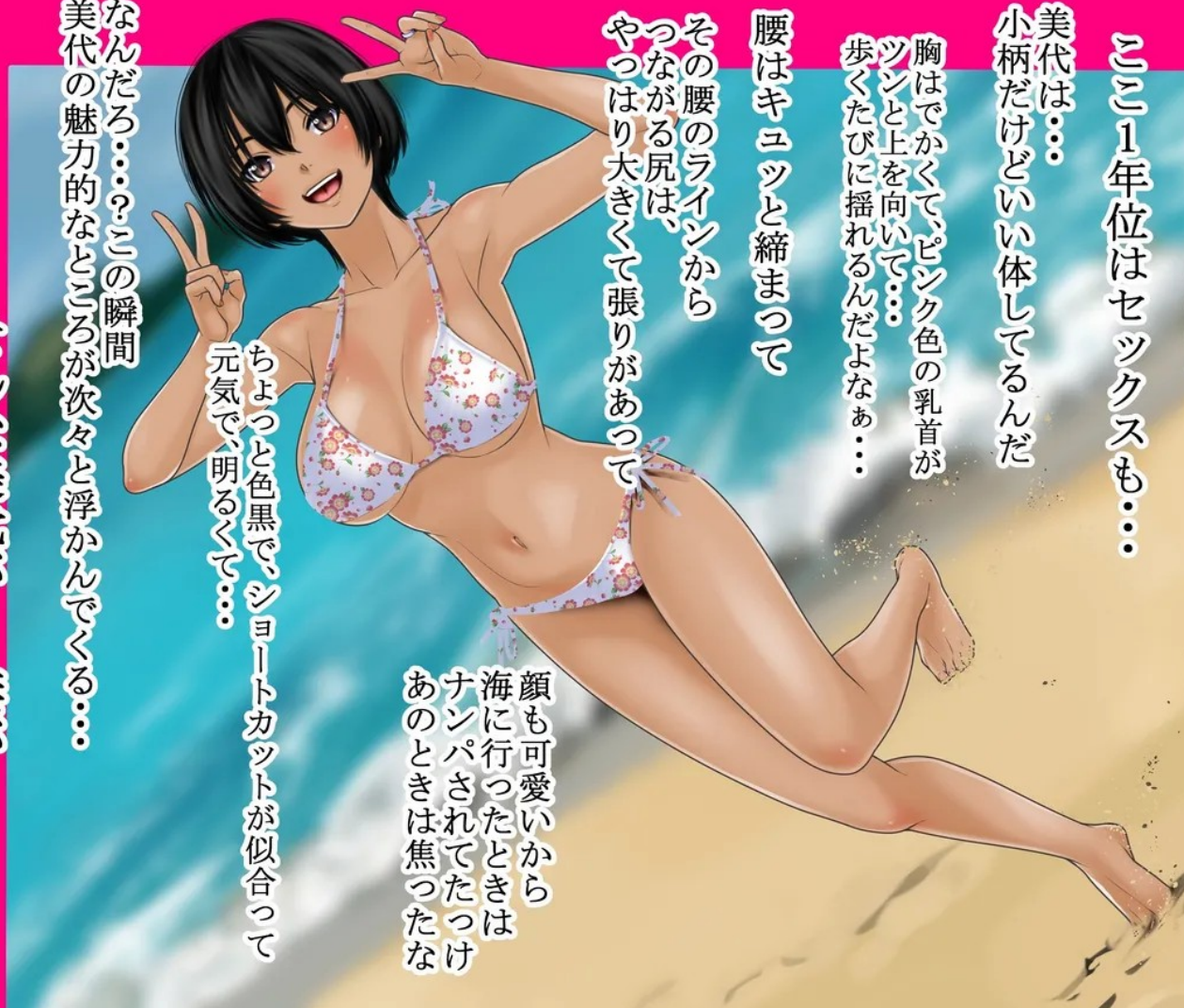
その腰のラインから
つながる尻は、
やつはり大きくて張りがあつて

顔も可愛いから
海に行ったときは
ナンパされてたっけ
あのときは焦ったな

ちよつと色黒で、ショートカットが似合つて
元気で、明るくて…

なんだろ…?この瞬間
美代の魅力的なところが次々と浮かんでくる…

そんな美代が…妻が…
他の男に抱かれている…!!?





そうなるに当然
こつちも負けてられねえってな

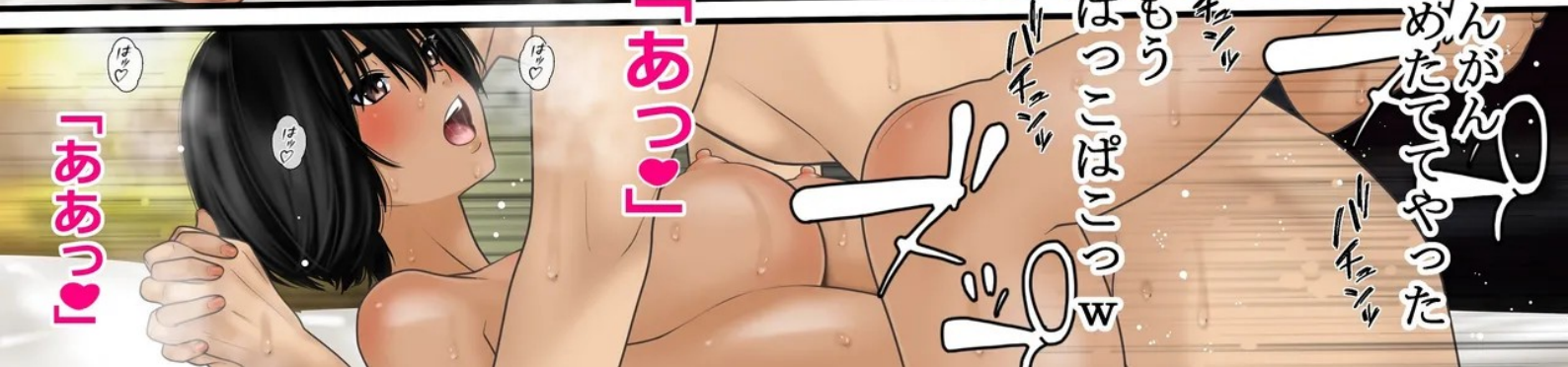
「へへ、まだまだたあつぷり
犯してやるっ！」

「んっ、そっっ」

ちんぽに飢えて
涎をたらしてる人妻ま○こを

「あっ♡」

「あんっ♡」



がんがんでやった
責めたで

もう
ぱっこぱこっw

「あっ♡」

「ああっ♡」



強い衝撃を受けた...

妻が、美代が
俺以外の男とセックスを...
こんなに淫らに...

突然に知らされた妻の浮気
裏切り...っ

でも、もつと衝撃だったのは
なぜ、何故

俺の股間はこんなに
膨らんでいるんだ!?

友人は昔から
女をコマすのがうまかった

自分好みに躰け、
遊ぶだけ遊ぶ

このまま放つとけば
美代はどうなって、
どうされてしまうのかっ!?

食い入る様に
動画を見つめる俺に

「気に入ったか?
また見せてやるよw」
と苦笑いしながらヤツは言った

「旦那は？」

「ん〜いつも
仕事仕事で」

「ふ〜ん」

「私に興味ないのか...っ」

「え〜っ!マジでっ!?
こないない女もつたいない!」

「ふふ、ありがと」

「じゃ、俺の
セフレになれよ」

「え〜...」

「だって俺ら相性
ばっちりじゃん? なっ?」

「...いいけど」

「よっしやつ!
やりまくるぞっ!」

「え〜♥」





「ただいま...」

「あ、あなた
お帰りい」

その日、俺を出迎えた妻の息は
妙に熱く、荒れていた

上気した顔
艶っぽく火照る体

ツーンと滴る汗...

「きよ、今日は早かったね？」

まるで裸に慌てて
取り繕ったような服装

その原因を、俺は知っている...

美代の浮気を知ってから
俺は自宅にカメラを仕掛けた

「待ってたっ！」

ある日、妻に内緒で仕事を休み
監視することに、すると

さほど待つまでもなく
その場面はやつてきた

「少しは我慢しろって
毎度毎度w」

「なんだよおまえ
もう全裸w？」

待ちきれなかったのか
すでに全裸になり
はしゃいで迎え入れる妻と
自宅のようにくつろぐヤツ

夫婦のソファに座り
肌と肌を擦り付け
甘えた声で囁く...

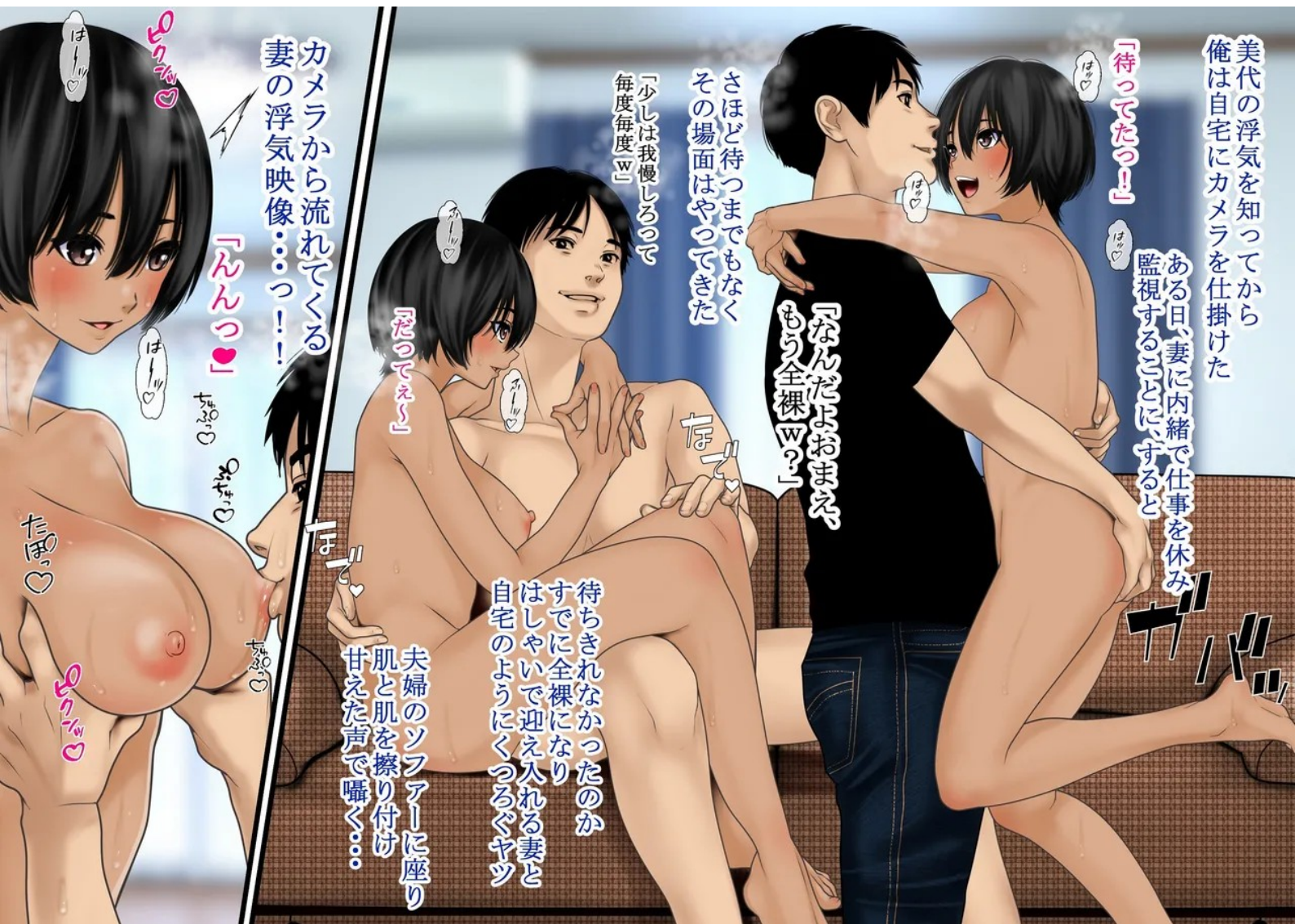
カメラから流れてくる
妻の浮気映像...っ!!

「んっ♡」

はっ♡
はっ♡
はっ♡

はっ♡
はっ♡
はっ♡

はっ♡
はっ♡
はっ♡



ネットリとした愛撫は
たつぷりと時間を掛けて
行われた

友人の顔が妻の愛液に塗れて
てかてかに光っている

「ほら欲しいか？
ん？ん？」

「んっ欲しい
んんっ♡」

「どうしよつかなあw？」

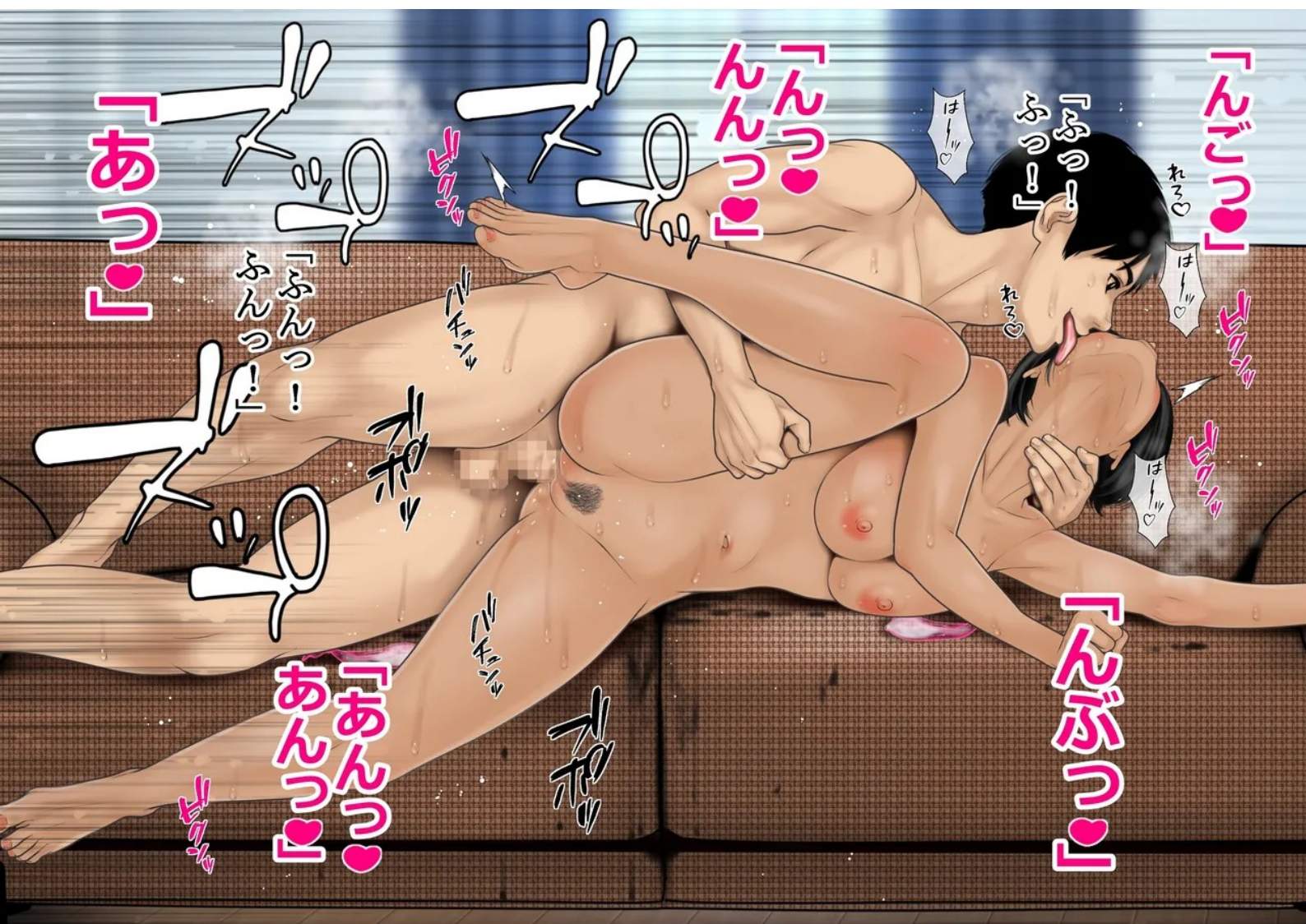
感じやすい妻のアソコは
もう既にふにやふにやに蕩けて
いるだろう

欲しくて欲しくてたまらない、
ひくひくと痙攣し
卑猥な音をたてる妻のアソコに…

肉棒が…
俺以外のちんぽがっ！

「んんっ♡」

いま…
ねじ込まれた…っ！



「んっ♡」

はっ♡
はっ♡

「んっ♡」

「んっ♡」

はっ♡

「んっ♡」

んっ♡

んっ♡

「んっ♡」

「んっ♡」

「んっ♡」



ふたりの性交は長く続いた
アイツは何度もなんども
美代を抱き、味わった

美代は美代で
アイツのすべての要求に
欲求に献身的に応えた

「ふ〜」
射精した射精したあ〜

そう、正に
ふたりは愛し合っていた

「やっぱおまえ
サイコーだわw」

「はふ…♡」

「<ooo」♡

「あ〜…♡」

「んふう♡」

俺はそれを見て…

車に轢かれた蛙のように
無様にうつ伏せる妻を見て…

「ふ〜」

「ふ〜」

「ぐ〜」

なんども…
何度も射精した…

見慣れた。。。いや飽きたはずの
妻の体が。。。とても魅力的に見えた

他人のモノになった妻に
胸が高鳴る、股間が膨らむ

妻と離れているときに思う
ああ、いまだんなことをしているんだ？
なにをされているんだ？

俺がしたことのないような
俺にしたことがないような
とても淫猥で激しい行為を。。。
そんな妻を想像すると

仕事が手につかず
トイレに駆け込むこともしばしば

他人の手に染められていく妻を見るのが
とても切なく、そして愉しい。。。！

俺はその後も妻の浮気を知らぬ存ぜぬでとおした
俺の知らない妻をもっと、もっと見たい。。。っ！





彼ったら急に
「コンドーム」一箱持つて外に立ってる」って言うの

もうっ、こんなえっちな格好で
そんなことしたら、ほら……

男のひとたちが私の体を
イヤらしい目で嘗め回すように見てくる
ああ……視姦^{みかん}られてる……

ああ、私これから
このひとたちに……

ナンパされちゃって

いっぱい……されちゃうんだ

♡
100



いっぱい…犯されちゃった♡

大学生位のコたちだったから
すぐく元気で、回復も早くて

両手にちんぽ♡
おま○こにも当然ちんぽ♡

許してくれないの、絶対に
疲れても、次、次いつて
ふふ、
彼らの上になったり下になったり

複数のおちんぽが
私の中に
出たり、入ったり♡



「んあつ
ああつ」

「あつ」

「あつ♥ああつ」

ふふ、すごかった……
すっごくよかった……

おま○こが痛くなるくらい
腫れちゃうくらい
犯されて、輪姦されて

「ほら、奥さん
ピース、ピースw」

「いや、ほんとエロいな
この人妻w」

「すげえだろ
俺の玩具w」

「サイコーっす
また貸して下さいよw」

「いいけど壊すなよ？
まだまだ使うんだからな」



大学生の彼らとはその後も何回か会ったんだ
新しいひとと何人か入れ替わりで来て

「旦那は？」

はー♡

はー♡

「出張でいなの」

♡♡♡

♡♡♡

すい♡

すい♡

2人だったり3人だったり

彼(保護者)なしで会ったから
最初はちよつと緊張しちゃった

「じゃ、朝までだなw」

♡♡♡

まー♡

「はうっ♡」

はー♡

はー♡

でもすっごくよく
してくれるんだよ、ふふ♡

♡♡♡

すい♡

すい♡



美代が家を留守にしていることを知っていた俺は
出張先から電話を入れてみた

そろそろかな、
という時間帯を狙って

電話口の美代の声は上擦って
息が熱く、荒れていた

電話の先に誰かの気配を
感じる……ああ、美代っ！

「はやく切れって
犯りてえ」

「うん、んっ
そ、そう」

一生懸命取り繕って
いるんだろう
俺にバレないように
でも全くできていない
会話の節々に抑えた
嬌声が混じる

美代……美代お

来週には帰るから
それまで……

たっぷりと
犯されていてくれ

「いのケツw」

「うん
うんっ♡」

もっ
ち♡

もっ
ち♡

い
い♡

い
い♡

は
ー♡

は
ー♡

い
い♡

い
い♡

出張から帰るといちようど

自宅に着いたタイミングで友人から動画が届いた

美代ちゃん
ほらピースピースw

はーっ♡

はーっ♡

はーっ♡

あーっ♡♡♡

んっ♡♡

はーっ♡

はーっ♡

0:08

0:1

ついさっきまで行われていた妻の浮気
晒されていた美代の痴態…

「ただいま…」

「おかえりなさい」

ああ、もうだめだ
今夜、妻に告白しよう

「あなた」

そして、これからは
俺の目の前で…

